



PLUS ULTRA

# HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 平成27年3月31日発行



卒業式での学校長式辞



全国選抜大会・全国大会に出場した生徒たち



修学旅行で台湾の成功高級中學を訪問



全国選抜大会で優勝した  
普2年1組 太田 彪雅君(足利一中)

## 目次

○「美しい花には、かくれた根の力がある」 学校長 岡部 宣男 .....	P.2
○卒業生に贈る言葉 .....	P.3
○学窓の思い出・富田校舎創立30周年 .....	P.4~5
○進学状況・就職状況 .....	P.6~7
○関東大会・国民体育大会・全国大会 .....	P.8~11
○白鷗大学だより .....	P.12
○本校舎トピックス .....	P.13
○富田キャンパストピックス .....	P.14
○SSH活動報告 .....	P.15
○PTAだより・新生徒会・予餞会・編集後記 .....	P.16

# 第50号

平成27年

# 3/31



# 美しい花には、 かくれた根の力がある

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

厳しかった今年の寒さも日ごと  
に和らぎ、春の息吹を感じさせる  
佳き日に、卒業を迎えた527名  
の皆さん、卒業おめでとう。

3年間で振り返ると、色々な出  
来事があったことのようによみが  
えってくると思います。勉強  
や部活動、生徒会活動や学校行事



厳肅な雰囲気での卒業式

など、一人ひとりが一生懸命努力  
し、悩み、力を注いできました。  
時に厳しく、時に苦しく感じたか  
も知れませんが、その一つ一つは  
皆さんの財産です。

目標の大学進学を目指し、朝学  
習から夜の8時学習まで、学校で  
も家庭でも、嫌になるくらい机に  
向かって勉強しました。部活動に  
おいては、新校舎建築中のため、  
体育館や校庭が使えない環境の中  
で、練習場所を探しては、寒い日  
も暑い日も黙々と練習しました。

時には怪我をしたり、監督やコー  
チや先輩に叱られたり…。それだ  
も目標を持って練習を続けて来ま  
した。

皆さんの中には「自分はそんな  
に頑張らなかつた」と思っている  
人がいるかも知れませんが、実は  
そんなことはなくて、努力しなが  
ら生きてきたことは、皆さんが3  
年間関わってきた人たちがよく  
知っています。

課題の提出が遅れたり、授業中  
に居眠りしたりして先生に叱られ  
た人も、次の日には、気を取り直  
してしっかり授業を受けていまし  
た。そして、希望する進路の実現  
に向かって、苦しみながらも自ら  
の課題の解決に向けて努力してき  
ました。

皆さんの学年は、部活動での活  
躍も多くありました。硬式野球部  
の秋季関東大会優勝。そして、昨



選抜大会での応援の様子



都大路に向けて出発する部員を激励する岡部校長

年春の選抜大会への出場。初戦に  
勝利し、甲子園に本校の校歌が流  
れた時は感動しました。また、昨  
年末には、女子駅伝チームが栃木  
県代表として都大路を走り抜き、  
県の順位記録を更新しました。そ  
のほか、柔道部、女子ソフトボ  
ール部、女子ソフトテニス部、ボク  
シング部、体操部、水泳部も全国  
大会に出場し好成績を収めました。  
文化部でも写真部、書道部、バト  
ントワリング部が全国大会に出場  
し、多くの表彰を受けました。表  
彰されていなくても、どの部活動  
や同好会も仲間と一緒に一生懸命  
努力したことは、顧問の先生や後  
輩たちは見えています。

皆さんには、これから先、何十  
年という人生が待っています。こ  
れからの人生には、一番だとか二  
番だとかいう賞状はありません。  
合格だとか不合格といった、その

場限りの結果も大きな意味を持ち  
ません。一番を目指す精神だけが、  
大切になるのだと思います。だか  
ら、いつまでも自分の夢や理想を  
追い、時には躓き、時には悩み、そ  
れでも諦めずに前進してください。

本校のモットーであるブルスウ  
ルトラとはこういう精神です。あ  
る人は勉強で、ある人は生徒会や  
部活動で、ある人は体育祭や合唱  
祭で、そして友人や先生たちとの  
関わりを通して、学び、身につけ  
た力なのです。本校で身につけた  
力を、ぜひ、これからの自分の人  
生を切り拓くために磨き、生かし  
てください。そして、できること  
ならば、自分のためだけでなく、  
社会のためにも、その力を惜しま  
ずに捧げてください。先人の夢や  
努力や悔いを引き継いで、今以上  
に、生活しやすく、幸せな社会を  
築いていくことが、皆さんに課せ  
られた使命です。皆さん一人ひと  
りが、これからの時代を任せられた  
人間として、より一層能力や知性  
を伸ばしていただけることを願って  
います。

終わりに「美しい花には、かく  
れた根の力がある」という、私の  
好きな言葉をはなむけに贈ります。



# 卒業生に贈る言葉

## 向上心



教頭・普通部長 長谷川 嘉明

ご卒業おめでとうございます。

3年間の課程を終え、学舎から巣立って行く卒業生の皆さんには「向上心」を持って前進してほしいと思います。

皆さんが高校生活において、勉強・部活動に向上心を持って目標を達成すべく努力をしたことは素晴らしいことです。この経験は、これからの人生の糧となるはずですよ。

私ごとですが、私自身今でも水泳競技を続けています。今年には、日本スポーツマスターズ大会（50m背泳ぎ）での入賞を目標に、栄養管理をし、筋力トレーニングを行った上で水上トレーニングを始めました。これまでの競技生活を振り返るとこれほどまで考えて取り組むことはありませんでした。大会に出場するだけで満足してしまいう自分がいたことを省みて、今更ながら向上心を持つことの大切

## 「恕」(おもいやり)



商業部長 柿沼 清孝

学業に部活動に資格取得にと、充実した3年間を過ごされた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

「己の欲せざる所、人に施すこ

## 卒業生に期待を込めて



教頭・進学部長 中戸 康平

卒業おめでとうございます。皆さんは、学校創立100年、富田校舎創立30年の節目に本校を巣立っていきます。しかし皆さんを取り巻く世界では、国内外を問わず憂慮すべき問題が溢れています。この様な状況を打破するのは皆さんです。そのために次の二つのことを心掛けてください。

まず、これからの人生には、困難もあると思いますが、その時はじっと耐えて、自らを奮い立たせてください。そうすることで、自分の中に大きな力が蓄積され、自

## 報恩感謝



総合部長 長 光則

仏教用語に「報恩感謝」という言葉があります。本来の意味と少し違うかもしれませんが、私は、「他人から助けられたことに対し感謝の気持ちを持つのは当然で、その恩に報いることが重要である。」というように解釈しています。

高校3年間を振り返ると、多くの人に感謝しなければなりません。一生懸命面倒をみてくれた両親や学校の先生はもちろん、級友や先輩後輩など、挙げたらきりがあり

字で「わが心の如く他人を思いやる」という意味です。この、人としてのすばらしい心を、世界中の全ての人々が持つことができれば、争い事など決して起こらないはずですよ。でも現実には……。なにしろ、「生涯をかけて、律すべき」言葉(心)なのですから。

卒業生の皆さん、まずは身近な人(家族や友人)に対して実践してみてください。その人からの「ありがとう」「うれしかったよ」の笑顔を思い描いて。

皆さんが高校を巣立って新しい環境に身を置き、高校生活を糧として立派に成長した姿を見せることが、感謝する相手への恩返しだと思います。これからの恩に報いる時です。

卒業おめでとうございます。





# 学窓の思い出



卒業証書特選コース総代  
特選3年1組 森彩花さん(白鷗足利中)

本校に入学してからの3年間は、とても充実したもので、笑顔の絶えない毎日があったという間に過ぎ去ってしまいました。勉強はもちろん、合唱祭や体育祭、富can祭にも全力で臨みました。個性豊かなクラスメートと共に過ごした日々はかけがえのない宝物です。在学中には学力が低迷して悩んだ時期もありましたが、先生方のアドバイスによって気持ちを切り換え、前向きに努力を続けることができました。その甲斐もあり、大学に合格することができました。

上智大学

文学部 フランス文学科



特別選抜コース  
3年1組  
相田 瑞貴  
(栃木東陽中)

本校で過ごした3年間は、あつという間で、入学したことがまるで昨日のように思えます。入学した当初は、これほど充実した高校生活を送れるとは思いませんでした。個性豊かで意識の高い友人に刺激を受け、毎日続けた8時学習。新しいことに挑戦したいと思い、入部した茶道部。いつも私たちが生徒を応援してくださった先生方。多くの人と関わることで、私は、大きく成長することができました。この3年間で関わったすべての人が、私にとって、家族のような存在です。

宇都宮大学 教育学部

学校教育教員養成課程  
教科教育コース  
家政教育専攻



進学コース  
3年3組  
落合 安純  
(小山三中)

高校生活で様々な経験をしたことにより、物の見方や考え方など、勉強だけでは学べない多くのことを学びました。その一つひとつが、私を一回りも二回りも大きく成長させてくれました。大学進学後も、お世話になった全ての方々への感謝を忘れず、日々精進していきたいと思っています。

白鷗大学  
経営学部 経営学科  
本校で過ごした3年間は、様々な経験をすることができ、私にとってかけがえのないものになりました。中でも甲子園に出場したことは一番印象に残っています。毎日仲間とともに練習に励み、野



普通コース  
3年3組  
小川 真希  
(古河一中)

これから、それぞれの目標に向うことで、この3年間の遠ざかってしまいかもしれません。しかし、立ち止まっている暇はありません。さらに向こうを目指すことで、私はこの3年間で家族たちに敬意を示したいと思っています。



卒業生総代答辞  
文理3年1組 相場 麗香さん(足利三中)



在校生に見送られて

球中心の生活でした。しかし、その毎日の積み重ねがあったからこそ、甲子園出場という目標を達成することができたのだと思います。部活動を通して、野球の技術の習得だけでなく、とても大切なことを学ぶことができました。野球ができる喜び、支えてくれる仲間への感謝の気持ち、夢を叶えることの素晴らしさなど、数え切れません。白鷗大学足利高等学校の硬式野球部に入学したからこそ、このような貴重な経験をすることができ、人間的にも成長することができました。私は、春から大学へ進学します。そこでも、辛いことや苦しいことが多々あると思います。そんな時は、高校3年間を振り返り、前を向いて頑張っていきたいと思っています。



文理進学コース  
3年 3組  
高橋 里奈  
(間々田中)

東洋大学  
ライフデザイン学部  
健康スポーツ学科

本校での3年間はとても充実した日々であり、自分自身を大きく成長させることができました。

体育祭や球技大会等の学校行事では、クラスが一丸となって全力で取り組み、良い結果を残すことができました。クラスメートとともに過ごした日々は忘れられない思い出です。

また、私は水泳部に所属していたため、学業と部活動を両立するのが大変でした。しかし、周りか

らの支えがあったおかげで、限られた時間の中で頑張ることができました。

大学ではこれまでとは違った環境で生活することになりましたが、本校で学んだことを生かし、前に進んで行きたいと思っています。

この3年間に苦しいことや辛いこともたくさんありましたが、多くの方々からの支えによって乗り越えることができました。今までありがとうございました。



総合選択コース  
3年 2組  
齊藤 菜生  
(栃木東中)

白鷗大学 法学部

パソコンに興味を持っていた私は、二年生になって迷わず情報メ



富田校舎創立30周年  
記念式典と記念講演会挙行される

昭和59年4月に、緑豊かな多田木町に進学科と英語科の二科で開設された富田校舎は、今年度で30周年を迎えました。このことを記念して、3月10日に生徒記念式典翌11日には特別記念講演会が行われました。

生徒記念式典では富田校舎の遷や各業界で活躍する卒業生が紹

介されました。卒業生の飯田早紀さんからは「様々な経験を通して主体的に行動できるように「欲しい」というメッセージが生徒たちに送られました。30年の歩みを受け、生徒代表誓いの言葉では、生徒会副会長の進二の三小川将慶君(館林一中)が「先輩たちから受け継いだ伝統を守っていきま



在校生代表送辞  
文理2年3組 芳原ケンシロ(見沼中)

ディアエリアを選択しました。そこで、色々なソフトの使い方や、どうやってパソコンをプレゼンテーションで生かしていくかなど、将来に役立つスキルを身につけることが出来ました。個人やグループでの作品製作は大変でしたが、完成したときは達成感を感じました。また文化祭や体育祭だけでなく、総合選択コース独自の行事を通して、友人たちとたくさん思い出を共有できたことは私にとってか

す」と力強く宣言しました。

特別記念講演会では、白鷗大学



飯田さんの講演

けがえない財産となりました。本校に入学し、先生方や大切な友人と出会えたこと、一般教科以外の専門科目をしつかりと学べたことは、私にとってとても意味のあることだったと実感しています。お世話になった方々に感謝し、卒業後も頑張っていきたいと思えます。



商業コース  
3年 2組  
櫻井 笑実  
(坂西中)

白鷗大学  
教育学部  
スポーツ健康専攻

「勉強と部活動の両立」を目標に本校に入学し、多くの人達の手を借りながらも、なんとか目標を達成できたかなと思います。

挫けそうになった時には、担任の先生が優しく時には厳しく声を掛けてくれ、大きな力で支えてくれました。クラスメートにも恵まれ、最高の仲間と戮力同心の精神を共に学び、一人一人成長することができました。

所属していたバスケットボール部では、熱心にご指導してくださった顧問の先生を中心に、チーム一丸となり、勝利に向けて日々練習に励みました。部活動を通して礼儀や気配りの大切さを学び、最後まで諦めない強い心も持つことが出来ました。

素晴らしい先生方に出会えたこと、充実した高校生活を過ごせたことに感謝し、大学へ行っても一杯頑張りたいと思います。今まで本当にありがとうございました。



生徒会による記念植樹の様子



白鷗大学	242名	明治学院大学	2名	芝浦工業大学	4名	北里大学	2名	日本大学	5名	東洋大学	16名	駒澤大学	2名	学習院女子大学	1名	酪農学園大学	1名	奥羽大学	1名	東日本国際大学	1名	つくば国際大学	1名	流通経済大学	2名	足利工業大学	5名	国際医療福祉大学	1名	獨協医科大学	2名	関東学院大学	1名	東京福祉大学	5名	高崎健康福祉大学	3名	群馬医療福祉大学	2名	群馬パース大学	2名	桐生大学	3名	共愛学園前橋国際大学	1名	跡見学園女子大学	3名	埼玉医科大学	1名	埼玉工業大学	5名	城西大学	2名	聖学院大学	1名	東京国際大学	3名	東京協業大学	7名	日本工業大学	7名	文教大学	12名	明海大学	1名	目白大学	1名	平成国際大学	7名	十文字学園女子大学	1名	埼玉学園大学	2名	尚美学園大学	1名	ものつくり大学	1名	日本薬科大学	3名
------	------	--------	----	--------	----	------	----	------	----	------	-----	------	----	---------	----	--------	----	------	----	---------	----	---------	----	--------	----	--------	----	----------	----	--------	----	--------	----	--------	----	----------	----	----------	----	---------	----	------	----	------------	----	----------	----	--------	----	--------	----	------	----	-------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	-----	------	----	------	----	--------	----	-----------	----	--------	----	--------	----	---------	----	--------	----

日本医療科学大学	2名	神田外語大学	2名	国際武道大学	1名	聖徳大学	2名	千葉工業大学	2名	千葉商科大学	1名	中央学院大学	2名	帝京平成大学	7名	東洋学園大学	1名	麗澤大学	1名	和洋女子大学	2名	大妻女子大学	2名	共立女子大学	4名	杏林大学	1名	国立音楽大学	1名	工学院大学	4名	国士舘大学	1名	実践女子大学	2名	順天堂大学	1名	昭和女子大学	6名	女子美術大学	1名	白百合女子大学	1名	聖心女子大学	1名	清泉女子大学	1名	創価大学	5名	拓殖大学	1名	帝京大学	8名	東京海大	4名	東京工科大学	2名	東京電機大学	9名	東京農業大学	4名	東邦大学	2名	日本体育大学	2名	東京都立大学	2名	武蔵野大学	3名	立正大学	4名	神奈川歯科大学	1名	関東学院大学	1名	洗足学園音楽大学	1名	桐蔭横浜大学	2名
----------	----	--------	----	--------	----	------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	----	--------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	--------	----	--------	----	---------	----	--------	----	--------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	----	--------	----	--------	----	-------	----	------	----	---------	----	--------	----	----------	----	--------	----

**〔専門学校合格者〕**

栃木県立衛生福祉大学	1名	栃木県南看護専門学校	1名	栃木医療センター附属看護学校	1名	自衛隊体育学校	1名	大宮国際動物専門学校	3名	マロニエ医療福祉専門学校	1名	宇都宮メディア・アート専門学校	1名	国際テクニカル調理師専門学校	2名	国際情報ビジネス専門学校	1名	宇都宮ビジネス電子専門学校	4名	群馬自動車大学	1名	太田医療技術専門学校	5名	大泉保育福祉専門学校	1名
------------	----	------------	----	----------------	----	---------	----	------------	----	--------------	----	-----------------	----	----------------	----	--------------	----	---------------	----	---------	----	------------	----	------------	----

他専門学校等 87名合格

**〔短期大学合格者〕**

國學院大学栃木短期大学	4名	佐野短期大学	7名	関東短期大学	2名	川口短期大学	1名	実践女子大学短期大学部	2名	東京女子体育短期大学	1名	東京農業大短期大学部	1名	新渡戸文化短期大学	1名
-------------	----	--------	----	--------	----	--------	----	-------------	----	------------	----	------------	----	-----------	----

**〔19名〕**

東洋英和女学院大学	2名	フェリス学院大学	2名	帝京科学大学	3名	山梨学院大学	6名	静岡産業大学	1名	中部大学	1名	藤田保健衛生大学	1名	関西外国語大学	1名	神戸常盤大学	1名	倉敷芸術科学大学	1名	環太平洋大学	1名
-----------	----	----------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	----	----------	----	---------	----	--------	----	----------	----	--------	----

**栃木県外**

石井工業(株)
石橋建設工業(株)
坂本工業(株)
(株)しげる工業
関綜エンジニアリング(株)
(株)とりせん
ニプロ医工(株)
富士重工業(株)
(株)ヨシカワ
東武ビルマネジメント(株)
佐川急便(株)
東海旅客鉄道(株)
戸田中央産院
(株)なとり
日野自動車(株)
フジングループ(株)
陸上自衛隊

平成26年度の  
**主な就職先**

**栃木県内**

アキレス(株)	竹内産業(株)
旭鋼管工業(株)	日産自動車(株)
足利市役所	浜井産業(株)
足利第一病院	日星石油(株)
遠藤食品(株)	(株)深井製作所
(株)きぬ川ホテル三日月	二荒山神社
鴻池運輸(株)	(株)フライングガーデン
佐藤金属工業(株)	ムロオカ産業(株)
(株)第一レジン工業	(株)レンタルのニッケン

**就職状況**  
～進路指導部～

～キャリア(人生経験・生き方)の模索～

今年度は、景気がやや上向きになり、各企業からの求人数も増加しました。9月から始まった就職試験(第一次)での内定率は、88%でした。その後、不合格となった生徒などを対象に各地で実施された合同面接会を経て、1月末現在での内定率は98%となりました。

就職希望の在校生は、今後自分の「キャリア」の向上を目指すために、学校生活の中で以下のように留意してほしいと思います。

★企業は求職者に対して、目標に向かって意欲的に取り組むことと、コミュニケーション能力を求めています。

①生活態度を正すこと(欠席・遅刻・早退をしない)  
②基礎学力の向上(就職試験での学力考査・面接試験対策)  
③部活動・資格試験への積極的な取り組み

これは、就職試験に直結する大切なことです。

# 活躍する 部活動 関東大会出場

## バトントワリング部 宇津木さん、ソロストラットに出場

2月14日・15日、さいたま市記念総合体育館において、第40回全日本バトントワリング選手権関東支部大会が開催され、総三の二宇津木千紘さん（玉村中）がソロストラットに出場しました。ソロストラットとは、マーチのリズムの中で足の出し方に決まりがあるなど、制約の中でいかにバトンテクニクとボディワークを表現するかが見所の種目です。



ソロストラットで8位入賞した宇津木さん

宇津木さんは、31名の出場者のうち準々決勝から8名に絞られた決勝まで、順調に勝ち上がりました。決勝では、冒頭のトリプル技に成功すると、次々と難度の高い

技も成功させ、全日本への切符を手中にしたかと思われましたが、後半、簡単なところでドロップしてしまい、焦りから一瞬振り忘れてしまったという痛恨のミスをおかし、第8位という結果に終わりました。悔いを残す結果でしたが、卒業後も競技を続けるそうですので、この経験を生かした今後の活躍に期待します。

## 陸上競技部 女子大健闘、県高校最高記録を更新

11月22日、佐野市運動公園陸上競技場を発着とする周回コースで、関東高校駅伝競走大会が実施されました。女子チームは1区の普三の四安藤優香さん（佐野北中）が区間6位の好ポジションにつけると、2区の文三の二馬橋あづみさん（佐野城東中）が4位に押し上げ、そのあとの選手も粘りの力走を見せました。アンカー5区の普一の四藤原瑠奈さん（真岡中）が、本校女子最高の6位でゴール、20年間破られなかった本県高校女子駅伝記録を8秒更新する圧巻の走りを見せ、初出場を決めた全国高校

女子駅伝大会へ向けての大きな弾みとなりました。



1区で見事区間賞を獲得した梶谷君(中央)  
(写真はインターハイの時のもの)



県大会で惜しくも2位と敗れた男子チームは、今年度、この大会における全国大会への出場記念大会での出場に賭けました。幸先は好調であり、1区の普三の一梶谷瑠哉君（今市中）がエースとして期待通りの快走で先頭に立ち、区間賞を獲得。2区の普二の一山本旺輝君（佐野南中）も全体2位で3区に襷をつなぎました。圧倒的優位に立ってレースを進めましたが、季節外れの高温が災いしてか、脱水症状の選手が出てしまい、無念の途中棄権となってしまいました。

## ウェイトリフティング競技 初出場で4位入賞!!



普通コース  
2年4組  
戸田 樹君  
(乙女中)

1月17日・18日に群馬県の前橋育英高等学校体育館で第30回関東高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会が開催され、男子85kg級に普二の四戸田樹君（乙女中）が出場しました。戸田君にとつて、初めての大会でしたが、スナツ

チで86kgに成功し、県大会の記録を3kg更新しました。続くジャークでは、緊張のために1回目の試技でコールを聞き逃してしまい失敗となるアクシデントもありましたが、その後落ち着きを取り戻し、県大会の自己記録を5kg更新して111kgに成功しました。結果は、スナツチで第3位、ジャークで第4位、トータルでは4位でした。

高校一年から競技を始め競技歴の浅い戸田君ですが、持ち前の精神力と粘り強さで着実に力をつけます。今後の活躍が期待されます。

## 書道部

## 書の甲子園に3名入選の快挙

第23回国際高校生選抜書展に文三の三出井智子さん（東陽中）と文三の三木村萌さん（田沼西中）、総一の二尾花真梨江さん（田沼西中）の3名の作品が入選しました。

この書道展は「書の甲子園」として知られ、国内外の高校生たちが書の腕前を競うものです。今回の出品は日本国内17034点、海外在住と留学生311点で、国内の入賞作品は200点、入選作品は1800点でした。三人の作品は他の入賞入選作品とともに2月3日～8日まで大阪市立美術館に展示されました。

また、比田井天来・小琴顕彰第3回佐久全国臨書展でも木村さん



入選作品

# 第69回国民体育大会

—長崎がんばらんば国体—

## 女子ソフトテニス部 国体ベスト16に貢献

10月14日・15日、佐世保市総合グラウンド庭球場で、第69回長崎がんばらんば国体ソフトテニス競技が開催されました。台風の影響で13日は中止となり、14日からの開催となりました。少年女子はブロック予選なしでの出場となり、栃木県チームは6名中5名が本校の選手で構成されました。

栃木県は2回戦からの登場で、2回戦は青森県との対戦でした。1番で出場した新宮・清水ペアは、力を発揮して相手にペースを握らせず4対1で勝ちました。2番で出場した久我さんは、他校の選手とペアを組みましたが息の合ったプレーで4対1で勝ち、3番で出場した浮谷・阿部ペアも4対2で勝利し、3対0で3回戦へと駒を進めました。

3回戦は優勝候補の三重県と対戦し、向かっていくテニスで奮闘するも0対2で負けてしまいました。入賞を目指していただけに結果は残念でしたが、選手たちは本校、そして栃木県の代表として健闘しました。この経験を今後の戦

いに生かしていくことを期待します。

### 出場メンバー

- 普三の四 新宮 愛さん (山辺中)
- 普三の四 清水香澄さん (山辺中)
- 普三の二 浮谷美咲さん (野田南部中)
- 普三の三 阿部美咲さん (協和中)
- 普一の三 久我奈々子さん (西郷二中)

## 柔道部

未来への手応え!

10月19日～21日、長崎県諫早市において、第69回長崎がんばらんば国体柔道競技が開催されました。厳しい関東ブロック大会を勝ち抜き、連続出場を果たした栃木県チームの代表として、団体戦5名のうち4名の選手が本校から出場しました。

初戦、強豪・愛媛県と対戦しました。先鋒戦に出場した普三の三鈴木一真君(白根第一中)が先制でポイントを取りましたが、相手選手に逆転され貴重な1点を与えてしまいました。続く次鋒戦に出場した普三の四浅野大輔君(協和中)が、得点を取り返そうと全力で望みましたが、焦りが出て逆に技を返され負けました。中堅戦でも敗れ勝負が決まっ



国体に出場した柔道部員

ましたが、続く副将、大将戦で普三の三太田竜聖君(足利一中)と普二の一太田彪雅君(足利一中)がそれぞれ一本勝ちを修め、次につながる活躍を見せました。2対3で敗れはしたものの、内容のあるとても良い試合でした。

今回の試合を反省し努力を続け、来年こそは優勝を目指します。

## 陸上競技部 過去最高の5名の選手が出場

第69回国民体育大会陸上競技が10月18日～22日に、長崎県諫早市の長崎県立総合運動公園陸上競技場において行われました。

本校からは、普三の一梶谷瑠哉君(今市中)が少年男子A5000m、文三の二籠谷龍志君(栃木東陽中)が少年男子共通5000m競歩、普二の三浅子隆一君(佐野北中)が少年男子A4000m

## 情報処理部 初の団体3位入賞

12月20日に行われた、栃木県高等学校新人ワープロ競技大会において、本校情報処理部が団体で3位に入賞しました。この競技は、10分間で入力した文字数を競うもので、団体メンバー4人のうち成績上位3人の合計文字数で順位が決定されます。平成18年からこの競技会に参加していますが、初めての入賞です。また、個人でも一年の部で、2位と3位を獲得することができました。6月には全国大会の県予選があるので、更に練習を重ね全国大会のキップを手にとりたいと思っています。



競技に出場した情報処理部員

- ### 出場メンバー
- 商一の一 宮本優香さん (古河二中)
  - 総一の一 吉澤優太君 (足利二中)
  - 総一の二 酒井愛莉さん (佐野北中)
  - 文二の三 落合佑介君 (大平中)
  - 個人一年の部第2位
  - 総一の一 吉澤優太君 (足利二中)
  - 個人一年の部第3位
  - 商一の一 宮本優香さん (古河二中)

してきたので、選手たちも悔しい気持ちで一杯の様子でした。今後も競技を続けていく生徒たちには、栃木県のためにも頑張っ



国体に出場した陸上部員

# 祝!!全国選抜大会優勝

柔道(無差別級) 太田彪雅君(足利一中)

ボクシング部、女子ソフトボール部、水泳部も大健闘

**柔道部**  
無差別級で太田君が優勝

3月20日・21日、第37回全国高等学校柔道選手権大会が東京の日本武道館において行われました。初日の個人戦には、無差別級に普二の一太田彪雅君(足利一中)、60kg級に普二の四関勝利君(足利一中)がそれぞれ栃木県代表として出場しました。



ベスト8入賞を果たした団体メンバー

関君は、初戦で優勝候補と対戦し健闘しましたが、残念ながら小差で敗れてしまいました。太田君は、初戦から調子がよく、一本勝ちを重ねて勢いに乗り、決勝戦に進出しました。決勝戦では、序盤から攻撃姿勢を見せていた太田君でしたが、相手に技を返され「技あり」を先制されてしまいました。

残り40秒、冷静な判断で相手を投げると寝技に持ち込み、大ピンチを乗り越え見事初優勝を勝ち取りました。制限時間ぎりぎりの優勝でしたが、太田君のパワーあふれる逆転劇に観客席からも大歓声があがりました。

**ボクシング部**  
惜しくも準々決勝で敗れたもののベスト8という見事な結果を残しました。来年こそは優勝を目指し、より一層努力していきたいと思えます。



準優勝した稲元君

第26回全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ(3月22日〜26日、岡山武道館)に、関東ブロックの代表として、フライ級で普二の二稲元純平君(行田西中)が出場しました。

稲元君は1回戦がシードとなり、2回戦からの戦いになりました。持ち前の負けん気と、ポテンシャルの高さで持っている力を遺憾なく発揮し、2回戦と準決勝共に3

対0のポイント勝ちで決勝戦へ進出しました。決勝戦では、全8階級の中でも1、2を競う熱戦となり、どちらが勝ってもおかしくない試合展開となりましたが、あと一歩及ばず惜しくもポイント負けになってしまいました。決勝戦での敗退はとても残念ですが、全国準優勝とは素晴らしい結果です。今回の経験を生かし、これから益々トレーニングに励み、精神力・体力に更に磨きをかけ、次の全国大会となるインターハイでの全国制覇を目指します。

**女子ソフトボール部**  
インターハイへの確かな手ごたえ

3月26日〜30日に、三重県熊野市山崎運動公園において、第60回記念全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会が開催されました。私学大会では、各地の予選を突破した強豪校が48チーム集結し、前半2日間のリーグ戦の結果で1部と2部に分かれ、後半はトーナメント戦で戦う大会です。

冬場の3ヶ月間、渡良瀬川の河川敷で毎日必死にトレーニングに

### 予選リーグ

- 向陽高校(長崎) 4-2 白鷲大足利
  - 園田学園(兵庫) 1-2 白鷲大足利
  - 聖カタリナ愛媛 0-2 白鷲大足利
- 1部トーナメント  
●千葉経済(千葉) 3-1 白鷲大足利



キャプテンとしてチームを引っ張る  
文理2年2組 水戸 久瑠実さん(那須厚崎中)

励んできました。今大会で学んだことを、6月のインターハイ予選に繋げ、優勝を目指します。

**水泳部**  
一泳入魂



文理進学コース  
1年2組  
塩島 広規君  
(赤見中)

3月27日〜30日、東京辰巳国際水泳場にて、第37回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会が開催されました。本校からは、文一の二塩島広規君(赤見中)が50メートルバタフライ、200メートルバタフライに出場しました。残念ながら決勝進出はなりませんでしたが、この悔しい経験を生かし、さらに成長できるように、精進したいと思います。

**陸上競技部**  
**全国高等学校駅伝競走大会**

12月21日、全国高等学校駅伝競走大会が開催され本校女子チームが念願の初出場を果たしました。各校のエースが集まる1区で、普三の四安藤優香さん（佐野北中）が区間15位、キャプテン文三の二馬橋あづみさん（佐野城東中）が



2区で力走するキャプテン馬橋さん

2区13位の力走で、チームは序盤で12位と良い流れを作ることができました。中盤区間の3区を文一の一穴戸梨夏さん（八千代一中）が粘り強く走り、下りのコースで勢いに乗った、4区の文三の二室伏杏花里さん（中村中）が、区間2位の快走でチームの順位を8位まで押し上げました。最後はアンカー15区の大役を果たした普一の四藤原瑠奈さん（真岡中）が、両手を挙げて笑顔でゴールしました。都大路での栃木県歴代最高順位である13位という結果と、最高記録を出す快挙でした。多くの方々の応援とサポートのおかげで、全

国の舞台で力を出し切るレースができました。

**男女合わせて6名が  
県代表に選ばれる大快挙！**

1月11日、全国都道府県対抗駅伝大会の女子駅伝が京都市で行われ、文三の二馬橋あづみさん（佐野城東中）をはじめとする5名の選手が、1月18日の広島市で行われた男子駅伝には、普三の一梶谷瑠哉君（今市中）がそれぞれ県代表として選ばれました。女子駅伝では、2区に普三の四安藤優香さん（佐野北中）、5区に馬橋さん（中村中）が正メンバーとして出走し、安藤さんは各チームの実業団所属選手が名を連ねる区間で力走、馬橋さんと室伏さんも順位を上げる快走を見せ、チームに貢献しました。一方、梶谷君は昨年に引き続き1区を任せられ、今年



2区で力走した安藤さん  
(ゼッケン10番 写真はインターハイの時のもの)

区間賞も期待されましたが昨年末全国高校トップ級ランナーとして、区間賞も期待されましたが昨年末

の強化の疲労が原因で故障気味であったことで、本レースでは苦戦を強いられました。しかし、後半はよく粘り、彼の潜在力の高さを示しました。

**男子ソフトボール部  
全国高等学校選抜大会初出場！**

3月22日～25日、静岡県富士宮市において、第33回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会が行われました。男子ソフトボール部に

**躍進する部活動**

**女子バレーボール部  
夢の春高バレー出場を目指して**

10月31日・11月1日、茂木町体育館、清原体育館において、第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会栃木県代表決定戦が開催されました。

本校は1回戦の宇都宮南高校に快勝すると、前大会準優勝の宇都宮中央女子高校にフルセットの末勝ち抜き、更に準決勝では宇都宮商業高校を接戦の末に破り、6年ぶり3度目の決勝進出を果たしました。

強豪・国学院栃木高校との決勝戦では、ラリーの応酬で白熱した試合を展開しましたが、8cmの身長差は大きく、残念ながらラストレートで敗れてしまいました。春

とっては初出場ということもあり、「全国1勝」の目標を掲げ、秋から冬にかけて猛練習を重ねて臨んだ大会でした。

初戦は、静岡県の第2代表である県立掛川工業高等学校と対戦しました。攻撃面では相手投手のライズボールなどに対応しきれず三安打に抑えられましたが、守備面では内野中心の堅い守りでエラーもほとんど無く、結果としては0対4の好試合でした。今後は、こ



3度目の決勝進出を果たしたバレー部員たち

見えてきます。毎日の練習でそれらを克服し、更に上を目指して精進していきたいと思えます。

**バスケットボール部  
県新人大会 男子3位・女子4位**

1月10日から栃木県高校バスケットボール新人大会が開催され、本校は男子が3位、女子が4位という結果を残しました。女子はここ数年ベスト4の常連となっていました。男子は7年振りの決勝リーグ進出となりました。



選抜大会初出場を果たした男子ソフトボール部員

の試合の経験を生かしてインターハイ予選に臨みます。

男子はキャプテン普二の一栗田尚輝君（乙女中）、女子はキャプテン普二の三丸田涼葉さん（陽南中）を中心に二年生も一年生もよくまとまり、全員バスケットで戦い抜きました。特に男子は、体格的に恵まれているわけではありませんが、二年生の順調な成長と即戦力となる一年生の加入が飛躍の要因となりました。

関東大会、全国大会出場という目標に向かって、今後も更に努力していこうと考えます。



3位入賞を果たした男子バスケットボール部員たち



4位入賞を果たした女子バスケットボール部員たち



# 本校舎

## トピックス

### ◆総合選択コース インターンシップ

総合選択コースでは、10月21日～24日の4日間、二年生100名がインターンシップを行いました。今年度は、市役所や市内の保育所、製造業を中心に32事業所で職場体験を行いました。

初めは不安そうだった生徒たちも、マナー講習や事前指導を重ねるうちに就労への自覚も芽生え、前向きな姿勢でインターンシップに臨むことができ、仕事をする上

での礼儀作法やコミュニケーションの重要性、働いて収入を得ることの意味を、身をもって実感することができました。  
また、この貴重な体験を後輩に伝えるため、11月21日に報告会が



工場での実習の様子

### エリア学習発表会

総三の一 田中 佑美(藤岡一中)

12月17日、総合選択コース二、三年生によるエリア学習発表会が行われました。3回目となる今回は、各エリアと絆を深めるためにコラボ形式で行いました。



浴衣姿を披露するライフエリアの生徒

まずライフエリア・情報メディアエリア・芸術エリア音楽系のコラボ発表では、浴衣を着たライフ

エリアが、BGMの中、キラキラした映像が映し出されているステージを舞うファッションショーで会場を盛り上げました。次に12月に開催したチャレンジショップで、ものづくりエリアが販売している真剣な姿を情報メディアエリアが撮影・編集し、会場の皆さんにお届けしました。さらに音楽系とものづくりエリアのコラボでは、ものづくりエリアが作った楽器カホンを使い「涙そうそう」を演奏し、書道系は、曲に合わせて書道パフォーマンスを披露しました。コラボという初めての試みでしたが、好評価を頂き、私たちはさらに大きく成長することが出来たと思います。

実施されました。来年度の参考にすれば嬉しいです。

### ◆商業コース インターンシップ

商業コースでは、10月21日～24日の4日間で毎年恒例のインターンシップが行われました。今年度も足利市内の製造業・販売業・飲食業を中心に11の事業所で就業体験を行いました。

体験内容は、小売店での販売実習、調理補助、受付業務や事務職



スーパーでの実習の様子

### 修学旅行 ～沖縄・台湾～

3月3日～8日、本校舎二年生は3班に分かれて沖縄または台湾へ3泊4日の修学旅行に行っていました。

文三の二 福井銀河(新里中) 私は沖縄での修学旅行で多くの事を学び、体験しました。

一日目は首里城を見学しました。朱色の壁に派手な龍の装飾は異国情緒が漂い、私たちを圧倒させま

補助など様々で、生徒たちにとって、働くことの意義や大切さを肌で感じ、将来の職業を考えるための、貴重な体験となったことと思います。

また、11月14日には一年生に向けて報告会を実施しました。体験した事業所ごとに分かれてパワーポイントでスライドを作成し、体験内容や感想などを発表しました。

### 合唱祭

11月19日、普通・商業・総合選択コースの一年生計8クラスが、マルベリー音楽ホールで、それぞれの思いを胸に合唱を披露しました。コースによっては、全員での音楽の授業がないクラスもありましたが、放課後に時間を作り毎日計画的に練習を行いました。合唱祭当日の真剣な表情で歌う生徒たちの姿が印象的でした。



合唱祭の一場面

結果は次の通りです。  
最優秀クラス賞 商業コース一年一組  
優秀クラス賞 総合選択コース二年二組  
審査員特別賞 普通コース二年一組  
最優秀指揮者賞 普一の一 大島 隆寛君 (塩谷中)  
最優秀伴奏者賞 総一の一 松島 欽奈さん(協和中)



ひめゆりの塔で平和を祈る生徒たち

今回の修学旅行で学んだ事を、未来の平和に繋げていこうと強く思いました。

# 富田キャンパス トピックス

## 修学旅行

11月、富田校舎の二年生は修学旅行に行ってきました。富田校舎の修学旅行は、アメリカ西海岸、アメリカ東海岸、オーストラリア、沖縄の四つのコースから、それぞれ自分の希望するコースを選択することができます。

コース別に分かれ、何度かの事前学習を経て目的地に向かった生徒たちでしたが、実際に目的地に到着すると、見るものすべてに圧倒され、まさに「百聞は一見に如かず」の境地を味わうこととなりました。特に、行き先に海外を選んだ生徒たちは言葉の壁の前に英語でのコミュニケーションに苦労していたようです。しかし、身振り手振りを交えながらも、自分の力で現地の人たちとコミュニケーション



アメリカ西海岸・グランドキャニオンにて

ションをとることができた生徒たちは、大きな自信を得ることができました。



沖縄・カヤック体験

また、アメリカ西海岸においてはサイエンスセンターでの本物のエンダービー号見学、東海岸では本場ブロードウェイのミュージカル鑑賞、オーストラリアでのホームステイ体験、沖縄での平和学習など、どのコースにおいても多くの本物に出会えたことで、普段の学校生活では決して味わうことのできない貴重な体験をすることができました。



オーストラリア・アボリジニと一緒に

生徒たち一人一人が今回の修学旅行でさまざまな思いを胸に抱き、出発前より一回りも二回りも成長して帰路につくこと

ができたのではないかと思います。この経験を糧にして、さらなる飛躍を期待します。

## 外国語系英語 プレゼンテーションコンテスト

社会的問題についての発表

11月26日に外国語系の三年生による英語プレゼンテーションコンテストが開催されました。今回は「いじめ」などの社会的問題について、パワーポイントで作った資料などを使ってグループで発表していききました。外国語系の三年生



みんなで記念撮影

## 合唱祭

11月21日、富田校舎のシーガルホールにて一年生の合唱祭が実施されました。どのクラスも早朝、昼休み、放課後と練習を積み重ねて本番を迎えました。当日は、全員が練習の成果を十分に発揮することができました。また、ゲストの本田育代さんによる独唱も披露されました。本田さんは現在、

にとつては、これまで英語表現の授業で学んできたことを披露する最後の機会になりました。どのグループもそれぞれ工夫を凝らした発表を披露し、審査員の

## センター試験応援

1月17日、例年よりも少し暖かさを感じたこの日、56万人を超える受験生が挑むセンター試験初日を迎えました。本校からは181名の生徒が試験に臨みました。会場である足利工業大学前には職員が待機していました。多くの生徒が英単語帳や教科書を開きながら歩いてきますが、担任の姿を見かけると笑顔を見せてくれました。激励メッセージが入った応援グッズを受け取り、「行って来ます」と正門をくぐって行く姿に頼もしさを感じました。



激励を受ける生徒

カイル先生から高い評価を得ることができました。このコンテストの経験を生かして今後も活躍して欲しいと思います。

ミュージカルやコンサートを中心に活躍している本校音楽科の卒業生です。観客全員が、響き渡る歌声に酔いしれました。生徒たちにとつても、印象に残る、素晴らしい合唱祭となりました。結果は次の通りです。

- 最優秀賞 特選・中高コース一年一組
- 優秀賞 進学コース一年四組
- 最優秀指揮者賞 進一の二 石井 伶依さん(坂西中)

初日に地歴・公民、国語、英語、2日目の18日に理科、数学の試験が行われました。それぞれが実力を発揮し、国立大学二次試験、私立大学一般試験に繋がる結果が取られたことと思います。



中高一貫コースと特選コースの合同合唱

- 最優秀伴奏者賞 進一の二 塩見 晏菜さん(榊林中)

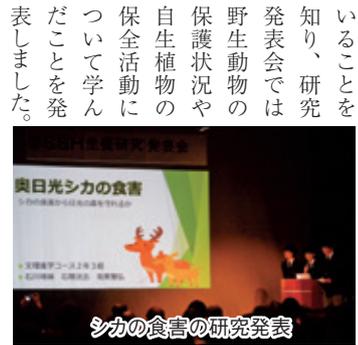
# スーパー・サイエンス・ハイスクール活動報告

## 生徒研究発表会

12月13日に足利市民会館小ホールにて、19の課題研究グループによる生徒研究発表会が開催されました。それらの発表の中から三つのグループの研究内容と報告を紹介します。

### 奥日光のシカの食害

文理進学コースの3名は戦場ヶ原付近のシカの食害と対応策について調査しました。現地でフィールドワーク活動を行い、防護ネットやウエスタン式開閉ドアを見学したり、奥日光がどのように変化してきたかという話を聞いたりしました。オオカミの不在によりシカが増加していること、観光開発により生態系の崩れ等が起こって



シカの食害の研究発表

### 乳酸菌（培養体験）

進学コース・特別選抜コースの3名は群馬大学理工学部大澤研二先生ご指導のもと、乳酸菌の培養と単離方法の確立を目的に研究を行いました。作成した寒天培地にヨーグルトの希釈液をぬり広げ、数日間培養しました。実験の過程で失敗することもありましたが、その度に試行錯誤して、菌のコロ

### < 研究発表一覧 >

- (1) エッキーから考える液状化現象
- (2) フクロウの生態について
- (3) 衝撃吸収物質の探究
- (4) ユニバーサルデザインの作成
- (5) 分光解析による植物アントシアニンの色変化
- (6) 水陸両用車の開発
- (7) 富岡製糸場の研究
- (8) 深井製作所の変遷～日本を支えるものづくりの技術～
- (9) 日本科学未来館見学
- (10) ～伝統的技法～ 藍染
- (11) 奥日光のシカ食害
- (12) 足利市の公共施設再整備計画
- (13) ワタラセツリフネソウとマイヅルテンナンショウ
- (14) 糖の研究
- (15) 生物岩としてのチャートから過去の地球環境を読み取る
- (16) 乳酸菌 ～培養体験～
- (17) プラナリアの個体差を調べよう
- (18) Methyl Salicylate's Antibacterial Properties (Overseas Study Tour)
- (19) ES Cells (Overseas Study Tour)

ニー（集団）を観察することができました。今後はこの菌の種類を特定する実験を行うていく予定です。



発表する生徒たち

### ES Cells

～Overseas Study Tour～

特別選抜コース・進学コースの5名は前橋工科大学で行ったES細胞の培養や、ウイスコンシン州立大学マディソン校で行った免疫染色法を用いてES細胞のマ

### 東京大学出張講演

12月25日に、富田キャンパスシールホールにて、理系進学希望の一年生を対象に、東京大学大学院農学生命科学研究科の宮下直教授と同研究科博士課程の山中美優さんによる出張講演が行われました。

宮下教授は生物が減ることや絶滅する理由について、狩猟や外来種、温暖化の影響などを挙げ、オオカミのような知られた動物や昆虫などを例にわかりやすく講演をしてくださいました。また山中さ

カー（October 3 / 4とSSEA 14）を検出する実験について英語で発表をしました。海外での技術に触れ、ES細胞の培養に成功したことは実りある経験となりました。ES細胞の研究は今後、宇都宮大学と連携をして行っていく予定です。



前橋工科大学・善野先生

### ポスターセッション

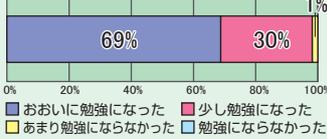
第2部として、各課題研究グループによるポスターセッションを行いました。会議室とオープンスペースを利用して、それぞれの

ブースで熱い討論が見受けられました。パワーポイントのスライドではなく、ポスターによる発表のため、質問者に対して細かく研究成果を伝えることが必要となり、プレゼンテーション能力の向上を促すことができました。聴講していた一年生にも、来年度の継続研究に参加したいと感じた生徒が多く、意義のある発表会となりました。



ポスターセッションの様子

### ◎生物多様性について勉強になりましたか。



### ◎理工学の職業に就いてみたいですか。



んは、近年新種として報告されたサドガエルを取り上げ、遺伝子を使った分布調査の結果についてフィールドでの調査の様子も紹介しながら、講演をしてくださいました。講演後のアンケート結果から、



宮下教授の講演

生徒はこれまで以上に生物の多様性の大切さについて、理解を深めたことがわかります。生徒からの質問もたくさん出て、大変有意義な時間となりました。

# PTAだより

一世紀の時を経て

PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆さん、御卒業おめでとうございます。白鷗大学足利高等学校で学んだ3年間の思い出が数え切れないほど、浮かんでいる事と思います。これからは高校生活で培った「ブルスウルトラ」の理念と、諸先生方から教えた技術や知識を生か

し社会人として、そして学生として大きな夢に向かって前進して下さい。

ところで、在校生そして保護者の皆さん、2015年は白鷗大学足利高等学校創立100周年の記念すべき年です。本校舎には9階建て36教室の新校舎が完成し、4月から生徒の皆さんが利用されるのを待っています。同時にクラブ活動の拠点となる総合体育館もまもなく完成し、「文武両道」の主

TRA」の精神で、新しいことに臆することなく積極的にチャレンジしていくと意気込んでいま

と伝統のある本校の生徒会役員と

## — 生徒会役員決定 —

11月1日に生徒会が発足しました。生徒会メンバーは、本校舎16名、富田校舎18名です。その大半が新メンバーですが、皆やる気に溢れています。「自分達の学校をより良くしたい！」という想いが強く、新たな活動を立ち上げようと考案中です。登校時の挨拶運動や生徒会新聞「団欒」の発行、ボランティア活動など、先輩方から引き継いだもの



本校舎生徒会役員

- |     |      |             |
|-----|------|-------------|
| 会長  | 文(三) | 三ツツシマ(見沼中)  |
| 副会長 | 総(二) | 岡地光樹(伊勢崎市)  |
|     | 文(三) | 吉田友美(定利北中)  |
| 議長  | 総(一) | 阿左美慎吾(商業南中) |
| 副議長 | 文(三) | 木村允哉(清流中)   |
| 書記  | 文(二) | 松本瑠美子(境西中)  |
|     | 商(二) | 工藤正吾(小山中)   |
|     | 普(二) | 小林祐実(大平南中)  |
|     | 普(二) | 戸恒隼斗(佐野北中)  |
|     | 普(二) | 堀江優花(大平南中)  |
|     | 商(一) | 若杉マユミ(大田東中) |
|     | 商(一) | 富澤美咲(荒砥中)   |
|     | 普(三) | 勝沼千都世(木崎中)  |
| 会計  | 文(二) | 神山史帆(佐野城南)  |
|     | 商(一) | 花立駿斗(佐野北中)  |
| 監査  | 文(一) | 須藤隆寿(高崎中)   |



富田校舎生徒会役員

- |     |      |             |
|-----|------|-------------|
| 副会長 | 進(三) | 小川将慶(館林中)   |
| 会計  | 進(四) | 佐藤 司(休泊中)   |
| 監査  | 進(五) | 兵藤右京(佐野西中)  |
|     | 進(一) | 仙波未来(皇が丘中)  |
|     | 進(二) | 石原樹羅(毛里田中)  |
|     | 進(三) | 橋本紗希(白鷗南中)  |
|     | 進(一) | 伊沢拓真(佐野北中)  |
|     | 進(三) | 野村栞里(白鷗北中)  |
|     | 進(三) | 渡部真樹(板倉中)   |
|     | 進(四) | 中里 護(広沢中)   |
|     | 進(二) | 小松原真寛(岩舟中)  |
|     | 進(二) | 松尾龍之介(白鷗北中) |
|     | 進(四) | 七原美優(小坂南中)  |
|     | 進(二) | 大木瞳樹(結城南)   |
|     | 進(一) | 茂木陸樹(定利北中)  |
|     | 進(二) | 野村利美咲(明和中)  |
|     | 進(一) | 穴山優華(定利北中)  |
|     | 進(二) | 峯 佑希(小山三)   |

## 予餞会



1月31日、本校舎第2体育館で予餞会が行われました。最初は、生徒会役員による映画の1シーンに合わせたアフレコ。スクリーンに映し出された登場人物の身振り手振りや口の動きに見事に合わせたオリジナルの台詞に会場が笑いに包まれました。次は独唱。ピアノ伴奏に合わせ、落ち着いた伸びやかな歌声で「湘南の風」の歌をしつとりと歌い上げました。続く吹奏楽部とバンドも、三年生への思いを込め、熱演してくれました。そして、最後を飾ったのは、シンガーソングライターのTEEさん。

命頑張りますので、宜しくお願致します。

## 編集後記

卒業式は、新たな目標に向かって旅立つ生徒たちへの贈りです。今年527名の鷗たちが、夢と希望に大きく胸を膨らませて、大空へと羽ばたいていきました。本校も今年創立100年を迎え、多くの卒業生たちを送り出してきた学舎を卒業します。4月からは新しい校舎で、「PLUS ULTRA」(さらに向こうへ)と、新たな一歩を踏み出します。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。  
編集・校報委員会  
発行・白鷗大学足利高等学校  
足利市伊勢南町三の二  
0284-410890  
制作・(有)コーエイプロセス  
発行日・平成27年3月31日